



南九州大学と連携した取り組み

綾町は平成27年から県内の各大学と包括連携協定を結び、さまざまな取り組みを連携して行っています。

南九州大学とは、昨年発売した「日向夏ケチャップ」のように、健康栄養学部食品開発学科と特産品開発を行ったり、人間発達学部子ども教育学科の学生と小学生向けの「夏休み自由研究相談会」を開催したりしています。

毎年秋になると、人間発達学部や環境園芸学部の学生を対象に集中講義や野外実習が町内で行われており、今年も多くの学生が学習しました。

ユネスコエコパークセンターで行われた「環境問題演習」では、役場の森林、鳥獣対策、文化財の担当者が取り組み状況を説明し、教員志望の学生たちに環境をベースとした課題解決に必要なことを考えてもらいました。

また、町の理念である「人と自然との共生」を学ぶ野外実習として、学生約50人が手づくりほんものセンター、照葉大吊橋、綾町イオンの森などを訪問。綾町独自のまちづくりの考え方や具体的な取り組み内容について学習しました。

大学の各分野との連携を続けていくことで、将来、綾町で学んだ学生が綾町のサポーターになってくれることを期待しています。



多くの学生が野外実習で訪れる
照葉大吊橋



川中自然公園での環境問題演習

